

# がっこうとしょかん 学校図書館だより



令和6年2月21日

横浜市立本牧南小学校  
校長 中村 宏  
学校司書 青木美佳

Vol. 45

令和5年度子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰受賞校

\*カラーのおたよりが読みたいひとは、ホームページをみてください。

2月



## こんげつ 今月のテーマ：

### シトリンの木 植樹式

### ~実りのみらいへむけて~

## しあわせルール

し・・・しずかに  
あ・・・あそばない  
わ・・・わすれない  
せ・・・せいりせいとん

わたしたちの学校図書館は、みなさんの未来を創るヒントがたくさんあった「情報発信基地」です。いろいろな本と人との出会いを通して、心も成長させていきたいですね。

シトリンプロジェクトも、次のように進んできました。

令和2年4月	学校・家庭・地域の輪を大切にする「シトラスリボンプロジェクト」がはじまりました。
令和5年4月	子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣賞を受賞しました。りんごの棚を設置しました。
令和5年4月	「シトラスリボンプロジェクト」と「りんごプロジェクト」を合わせた「シトリンプロジェクト」が図書委員会より全校にむけて発信されました。
令和5年5月	りんごプロジェクト講演会が実施されました。
令和5年6月	全校にむけて、シトリンプロジェクトのイメージキャラクターを募集しました。230個の応募がありました。その中から、1つのキャラクターが投票で選ばれ、朝会で発表されました。(シトリンの誕生白)
令和5年6月	シトリンプロジェクトイメージキャラクターがデジタル化されました。
令和5年6月	3年1組がESD推進校の取組として、総合的な学習の時間「本校のまちにここぞ大作戦」と学校図書館のコラボがスタートしました。
令和5年10月	りんごプロジェクトさんからの依頼を受けて、「超福祉の学校2023」で、シトリンプロジェクトと学校図書館の紹介をしました。
令和5年11月	読書週間では図書委員会を中心に本を通してシトリンプロジェクトを宣伝しました。
令和5年11月	3年1組×学校図書館で、中区ブックフェスタに参加しました。(延べ350人の参加がありました。)
	「シトリンプロジェクトスタートブックリスト」を作成しました。
令和6年1月	3年1組の代表が「ESD推進実践校コンソーシアム」に参加しました。

## さかなよかたくいず 魚の読み方クイズ

(こたえは裏面にあります。)

今年度は魚貝類の読み方をクイズにだします。



では、さっそく・・・

## 「鮫鯨」

・・・は何と読むでしょう

## こんげつ 今月のおすすめの絵本

「心をひらいて、音をかんじて  
～耳のきこえない打楽器奏者

エヴリン・グレニー」

シャノン・ストッカー 文

デヴォン・ホルズワース 絵

みつむらきまういくとしよ  
光村教育図書・2023年7月発行

ふかのう不可能なんてない！感動の一冊！

## 「シトリンの木」

しよくじゆしき  
植樹式



## そうにせんしゅけん お雑煮選手権がおわりました

今年は先生芳のお雑煮で地域の特色をしらべたり、アンケートで食べたくなったお雑煮やめずらしいお雑煮を全校で選んでもらいました。

栄養教諭の西村先生からもコメントをいただきましたのでご紹介いたします。



日本には四季それぞれの行事や祭礼があり、その季節の旬のものをを使った行事食、郷土食が伝えられてきました。代表的な行事食が新年を祝って家族で食べる「雑煮」や「お節料理」です。

特に「雑煮」は地域や各家庭によっていろいろな形で伝えられ食べられています。

お雑煮は、年越しに「年神様」にお供えた餅とその土地で収穫した作物を家に迎え入れた年神様と一緒に食べるものでした。これは「神事」が終わってからお供えたものをいただく行事「直会」からきているといわれます。お供えた食べ物には神様が宿ると考えられていました。お供えた食べ物を食べることで神様の力を身につけ一年間健康で幸せに暮らせると考えられていたのです。

古来より伝えられてきた行事食や郷土食には、その土地に住む人たちの健やかなくらしや幸せを願う心や祈りが込められています。また、食べ物を与えてくれた自然や人々の労りに深く感謝する共に大切に美味しく食べようと工夫された料理が伝承されてきました。

現代は、年間を通して手軽に季節に関わらず美味しいものが食べられるため地域や各家庭から行事食や郷土食が消えていこうとしています。日本の宝である食文化を絶やすことなく子どもたちに伝えていきたいと考えています。

先日、輪島の震災に合わせた方々に温かい汁物が配られる様子がテレビで映し出されました。湯気の上がる汁物を口にすると、みなさんの表情が和らぎ笑顔が見えました。

食べ物は、人に生きる力、元気を与えてくれるのだと感じました。  
栄養教諭 西村美智子

なつ きょうかしょしりーず だいよんじゅうごだん  
～懐かしい教科書シリーズ 第四十五弾～

『空いろのたね』中川李枝子 作

ゆいくんはキツネの子にたのまれて、持ち物を交換します。ゆいくんは、もらった植物の種を庭にまいて水をやります。やがて家の形の芽がでてきて、次第に大きな家に育ちます。その家に、たくさんの動物が次々に入ってきます。家もどんどん大きくなります。キツネの子は、その家が自分の持っていた種から成長したことを聞いて、面白くありません。そして、全員を追い出してしまうところがある……。『ぐりとぐら』を書いた中川李枝子の作品。

## ピンクシャツデー(2月28日)について

いじめ反対の日は、人々がいじめに反対する姿勢を象徴するために主にピンクのシャツを着る日で、カナダで実際にあったことを元にした「いじめ反対運動」です。

本牧南小学校でもさまざまな取組が行われていますね。

次のホームページなども参考にしてみましょう。  
紙芝居やピンクシャツの折り紙などがダウンロードできます。

<https://pink-shirt-day-kanagawa.com/>



## いちにち 一日1SDGs わたしたちにできること

### 2月の主な行事

日本初の天気図作成の白・節分・世界友情の白

ピンクシャツデー



さかな かんじく いす  
魚の漢字クイズ のこたえ!!



「鮫鯨」は・・・「あんこう」と読みます!!